vol.15
広報つばめ「子ども版」
令和8年11月1日発行

もっと！ギュッと！つばめっ子ニュース

15期生が作りました！



つば推し！リポーター
桜咲ユメ

燕市合併20周年おめでとう！

チームA 燕ジュニア検定



チームB 子どもの居場所



チームC 燕市 B&G海洋センター



市内の小学5・6年生が「子ども記者」として、燕市の魅力を取材し作成した広報つばめ「子ども版」です。表紙のデザインは、チームCの長谷川詩織さんのアイデアを基に、子ども記者の皆さんのアイデアをちりばめました。

チーム A

知っていそうで知らない 燕ジュニア検定！

私たちは、燕ジュニア検定について取材しました。意外と知らないことがたくさんあったので、この2ページでは燕ジュニア検定の秘密をお届けします！
今まで知らなかったことも、ここで分かるかも!?



なぜ、燕ジュニア検定を作ったの？

15年前、当時の市長との話し合いの中で、「ふるさとの燕を大好きになってほしい」という思いから、検定を通じて、燕市について学んでほしいと考えたそうです。そして、生まれ育った燕市のことをもっともっと知ってもらいたいということから燕ジュニア検定が始まりました。

今年、燕ジュニア検定には、燕市合併20周年を記念して、新しい問題が追加されました。教育長に一番おすすめの問題を聞いてみると…なんと、全部だそうです！

その中でも、教育長が特に思い入れのある問題があります。それは、長善館史料館についての問題です。

そこで、私たちも長善館史料館に行ってみました！



▲長善館史料館
◀長善館史料館の詳細はこちら

長善館史料館ってどういう場所？

燕ジュニア検定の問題にも出てくる「長善館史料館」に行ってきました！

長善館は、1833年(天保4年)に鈴木文臺によって粟生津村の地に開かれた私塾です。約80年間にわたって、たくさんの人がここで勉強していました。長善館史料館には、当時使われていた教科書のほか、先生や門人たちが書いた作品、書などが展示されています。良寛さまが残した書もありました。当時は、中国の古典などを中心に勉強していましたが、時代が進むと、数学や英語なども学ぶようになったそうです。

実際に長善館史料館を見てみると、「昔の子どもたちは、どんな気持ちで勉強していたのかな?」と気になりました。

また、燕ジュニア検定をきっかけに、昔の燕の子どもたちがどんなことを学んでいたのか知ることができました。

皆さんも、燕ジュニア検定で気になった燕市の歴史を調べてみてください！



▶鈴木文臺

燕市教育委員会 小林教育長にインタビュー



燕市教育委員会 教育長
小林 靖直さん

Q1 燕ジュニア検定を始めた理由を教えてください。
A1 燕市の良さをクイズ形式で楽しく伝えたかったからです。

Q2 なぜ、燕市の良さを知ってもらいたかったのですか？
A2 生まれ育ったふるさとを、みんなで誇りに思ってほしいからです。

長善館史料館 横山館長にインタビュー



燕市長善館史料館 館長
横山 文一さん

Q3 長善館史料館には、どんなものがありますか？
A3 江戸時代から明治時代まで、私塾で使われた教科書や書画などがあります。

Q4 長善館には、有名な人がいたのは本当ですか？
A4 大勢いました。
長善館史料館には、有名な人たちについての資料がたくさんあります。

燕ジュニア検定クイズ

燕市について、どれくらい知っていますか？ 実際に出題されている問題を出します！

問1
1497年、初めて「つばめ」の地名が登場した時、現在とは別の字で書かれていました。どんな漢字で書かれていたでしょう。
❶津波目
❷都馬芽
❸付葉女

問2
燕市合併20周年である、3月20日に20歳を迎え、「つ」の形をしたくせ毛がチャームポイントのオリジナルキャラクターは誰でしょう。
❶桜咲ユメ
❷きららん
❸つばまる



問3
長善館の「長善」とはどんな意味でしょうか。
❶1日1回良い行いをする
❷長所を伸ばし欠点を補う
❸欠点より長所を探す



まとめ・感想

燕市では、子どもたちに燕への誇りを持ってほしいと思い、燕ジュニア検定を始めました。今回の取材で、燕市には私たちがまだ知らない歴史や魅力がたくさんあることが分かりました。20年後も、燕市の歴史や良いところが受け継がれていて、今よりもっとたくさんの人が燕市を好きになっていたらいいなと思います。

▲燕ジュニア検定の詳細はこちら

クイズの答え　問1：❶津波目　問2：❶桜咲ユメ　問3：❷長所を伸ばし欠点を補う

みんなで行こう！

チーム B

子どもの居場所 ～つばめベース～

私たちは子どもの居場所の一つである「つばめベース」に行きました。つばめベースでは利用者が楽しめる工夫がたくさんあります。皆さんも工夫を知ってつばめベースに遊びに行きましょう！



子どもの居場所「つばめベース」のこと知ってる？

燕市には、いろいろな子どもの居場所があります。その中でも今回は、新潟子ども応援団仲町拠点内にある「つばめベース」を紹介します。

つばめベースが始まったのは令和5年11月1日からです。つばめベースを造ったきっかけは「昔に比べて子どもたちが集まれる場所が減ってきているからです。子どもたちが安心して過ごせる〝秘密基地〟のような場所を作りたいと思った」と副所長の鈴木さんは言っていました。

また、つばめベースには、子どもが好きそうなおもちゃがたくさんあって、子ども同士で交流できる机や楽しく買い物ができる駄菓子屋もありました。さらに、施設内にはカフェと子ども食堂もありました。





副所長の鈴木さんにインタビュー



新潟子ども応援団仲町拠点つばめベース副所長
鈴木あかねさん

Q どのような人が利用していますか？

A 学校が終わって帰ってきた小・中学生が一番多く、未就学児から高校生までたくさんの人が利用しています。

Q 利用している人はどんなことをしていますか？

A 遊び場でゲームをしたり、駄菓子を買ったり、おしゃべりをしたり、のびのび時間を過ごしています。

Q 子どもたちが安全で自由に過ごすためにどんなところを工夫していますか？

A いろいろな遊べる物を用意して楽しく過ごせるようにしています。さらに、「※こども110番の家」になっていたり、防犯カメラがたくさんついているので安全に見守りをしています。

※こども110番の家…子どもが声かけやつきまとい、痴漢などの危険な場面に遭った時に駆け込める子どもの避難場所

Q 子どもの居場所を作るためのイベントはありますか？

A 誰でも参加できるイベントを多く行っています。

Q なぜ駄菓子屋を始めたのですか？

A 自分で選んで、自分で買う経験をしてほしかったからです。

Q なぜ月・火曜日が定休日なのですか？

A 水曜日から元気にみんなをお迎えできるように準備をするためです。

Q どうしていろいろなものを無料で提供しているのですか？

A どんなご家庭でもお金の心配をせずに安心して過ごしてほしいからです。

クイズ

問1　駄菓子屋を始めたきっかけは何でしょうか？

❶お菓子を食べてほしいから　❷自分で選んで買う経験をしてほしいから　❸駄菓子が好きだから

問2　1年間の利用者はどのくらいでしょうか？

❶ 1,400人　❷ 13,500人　❸ 16,800人

問3　なぜポップコーンを無料で配っているでしょうか？

❶おいしいから　❷みんなに楽しんでほしいから　❸何となく





まとめ・感想

行ったことはあったけど、聞いたことのない秘密や知らなかったことがあって楽しかったです。燕市には子どもが安心して楽しめるところが多くていいなと思いました。

つばめベースに行ってみていろいろな工夫を発見しました。特に季節ごとにイベントがあるということがすごいと思いました。20年先もつばめベースのような居場所が増えているといいなと思いました。皆さんで一緒に作っていきましょう！

つばめベースの情報

- 住所　燕市仲町3-10-1
- 営業時間　11:00～17:30
- 定休日　月・火曜日
- 電話番号　46-8805

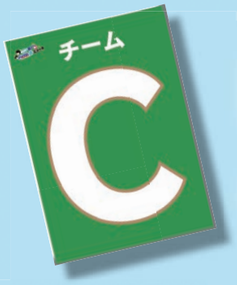




地図



クイズの答え　問1：❷自分で選んで買う経験をしてほしいから　問2：❸16,800人　問3：❷みんなに楽しんでほしいから



\どこが変わったの？/ リニューアルしたB&Gのひみつ！





皆さんは、B&G海洋センター（以下、B&G）がリニューアルしたことを知っていますか？ 実は、主に4つも新しくなったところがあるんです！ その内容と理由は何でしょう？ 私たちがその秘密を調査してきました！

▶詳細はこちら

B&Gってどんな所？

8月1日にリニューアルオープンした、B&Gは、25メートルプールと子ども用プールが設置された施設です。

施設の老朽化の解消や利便性の向上を目的にリニューアルしました。

リニューアルのポイント

1. 多目的ルームを新設
2. バリアフリーに対応
3. 更衣室・シャワー室を全面改修
4. 暑い夏はもちろん！寒い冬も快適に

施設に遊びに行ってみよう！

場所
燕市白山町3丁目24番52号

利用時間
平日・土曜日　13時～21時
日曜日・祝日　13時～18時
※小・中学校の長期休業期間は利用時間が変更になります。

利用料金
未就学児……無料
小・中学生……100円
高校生・65歳以上……200円
右記以外……300円

持ち物
水着、帽子、タオル、ゴーグルなど

クイズ

問1　アンドリーくんの「アンドリー」の由来は？
❶B&Gの「&」とリンゴの「リ」
❷B&Gの「B」とひよこの「チック」
❸B&Gの「&」と鳥の「トリ」

問2　B&Gがリニューアルした理由は、前のB&Gが40年以上経って、テントが古くなったり、機械が壊れたためか？（○ または ×）

問3　子ども用プールは何メートルあるか？
❶4×6メートル
❷6×8メートル
❸29×30メートル



◀B&G海洋センターキャラクター
アンドリーくん

B&Gのリニューアルに関わった2人にインタビュー

Q　新しいB&Gのすごいところは？

大庭さん　プールサイドに床暖房がついているところです。冬でも快適に過ごせます！

芦川さん　きれいになったのはもちろん、バリアフリーで車いすの人も来やすくなりました。

Q　どんな人に利用してほしいですか？

大庭さん・芦川さん　市民や市外の人にもたくさん利用してほしいです！ 小・中学生だけでなく、小さい子どもや親子で一緒に利用してください！

Q　これからB&Gはどうなってほしいですか？

大庭さん　きれいなままたくさんの人に愛されるプールになってほしいです。また、地域の皆さんの健康やリフレッシュのために利用してください！

芦川さん　たくさんの人が使ってくれるような場所にしたいです。ぜひ、B&Gに遊びに来てください！

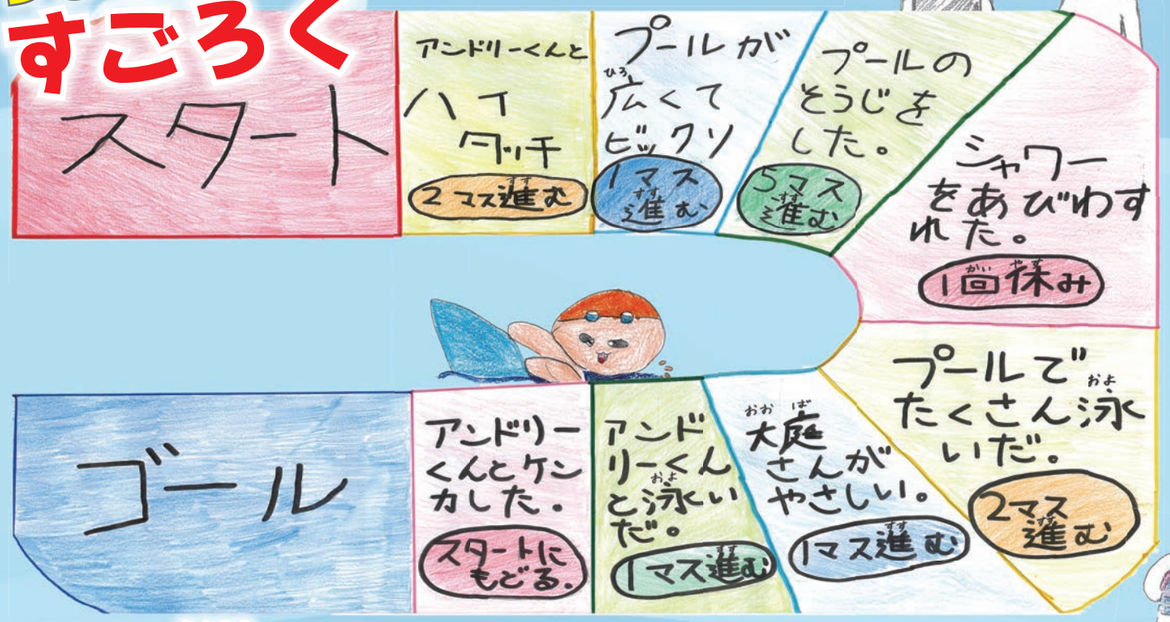


燕市スポーツ協会・ミズノグループ
燕エリアマネージャー
大庭 有貴さん



社会教育課 スポーツ推進室
芦川 紘子さん

ビーアンドジーかいよう B&G海洋センター すごろく



まとめ・感想

実際に見て、それぞれどこが新しくなったのか分かりました。新しいB&Gに通っている人が、20年後、すごい水泳選手になっていたらうれしいです。ぜひ、リニューアルしたすてきなB&Gに行ってみてください。

▲B&G海洋センターのInstagramはこちら



クイズの答え　問1：❸B&Gの「&」と鳥の「トリ」　問2：○　問3：❷6×8メートル

編集後記

取材・編集を終えた19人の子ども記者の皆さんから楽しかったことなど感想を聞きました。

ホームページでも見ることができます▶

チームA



編集長 燕南小5年 深海 華乃彩
初めての子ども記者だったけど、同じチームの人と一緒に協力できて良かったです。



副編集長 小中川小6年 横山 愛莉
去年の経験を活かして、チームのみんなと協力して記事を作ることができました。良い経験になりました。



燕西小5年 髙橋 陸斗
楽しく子ども記者の活動ができて良かったと思いました。



燕西小5年 角田 陽南
知らない人がほとんどのチームだったけど、みんな優しくて楽しかったです。



大関小6年 加藤 悠晴
去年の経験を活かして、楽しく取材ができたし、それをしっかりまとめることができてとても良い記事が書けました。



吉田北小5年 丸山 咲也花
あまりカメラを使ったことがなかったので、重いカメラを支えながらきれいに撮れてうれしかったです。

チームB



編集長 吉田南小6年 松木 晴香
2回目の参加で去年の経験を活かして取材や編集ができました。また、編集長としていろいろな経験ができました。



副編集長 分水小6年 神保 琴音
最初は上手にできるか不安だったけれど、チームのみんなと協力して取材ができて良かったです。



燕東小5年 伊藤 咲
初めての活動で緊張したけど会議をする中で友だちが増えてうれしかったです。来年もやりたいです。



燕西小5年 鳥部 新
最初は初めてのことばかりで、緊張したけれど、新しい友だちができてうれしかったです! 来年もやってみたいです。



燕西小5年 大山 花夏
最初は緊張したけれど、みんなで取材や編集をしていくうちに、仲良くなって、楽しかったです。



小中川小6年 遠藤 一馬
カメラを使ったり、取材をしたりなど初めてのこともありましたが、うまくできて良かったです。

チームC



編集長 燕南小6年 小林 日葵
2回目の子ども記者でしたが、他校の人と仲良く作業ができて楽しかったです。良い思い出になりました。



副編集長 燕西小5年 長谷川 結愛
知らない人がいっぱいいて、緊張したけど、だんだんチームの人と仲良くなれてとてもうれしかったです。



燕西小6年 小林 結菜
昨年の経験を活かし、見やすい記事作りを目指しました。チームで仲を深めながら作業ができて楽しかったです。



燕西小6年 清野 心陽
最初は緊張していたけれど、取材や編集を通して、他校の人と協力することができました。



燕西小5年 村山 みつき
初めての子ども記者で緊張したけど、チームの人たちと楽しく進めることができてうれしかったです。



大関小6年 松井 結翔
最初は、知らない人ばかりで不安だったけれど、みんなと協力することで取材や編集を楽しむことができました。



吉田北小5年 長谷川 詩織
初めて参加して、とても緊張したけど、やっているうちに、とても楽しくできて良かったです。



発行/燕市
編集・企画/広報つばめ子ども記者
〒959-0295 燕市吉田西太田1934番地
☎0256-92-1111 FAX0256-92-2112
メール：koho@city.tsubame.lg.jp
HP：https://www.city.tsubame.niigata.jp/